

第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 議事要旨

日 時：令和2(2020)年3月23日(月) 13時30分から
場 所：周南市シビック交流センター2階 交流室1

【会 議 次 第】

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員の自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 議 事
 - (1) まち・ひと・しごと創生について
 - (2) 周南市人口ビジョン改訂（案）について
 - (3) 第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について
 - (4) 総合戦略策定スケジュールについて
- 6 その他
- 7 閉会

【配布資料】

- ・資料1 第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員名簿
- ・資料2 第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱
- ・資料3 まち・ひと・しごと創生について
- ・資料4 周南市人口ビジョン改訂版（案）
- ・資料5 第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）
- ・資料6 総合戦略策定スケジュール
- ・（参考資料）配席表
- ・（参考資料）第1期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略
〔平成30年度改訂版〕
- ・（参考資料）第1期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（付属文書）
アクションプラン〔平成30年度改訂版〕
- ・周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議の開催日程伺い

第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 議事要旨

- 日時 令和2(2020)年3月23日(月) 13時30分から
- 場所 周南市シビック交流センター2階 交流室1
- 出席者
- ・委員14名
江波 昭政、徳田 晴宣、畑 道規、山田 みゆき、内山 美保、柴野 毅、
藤井 義裕、榊原 弘之、河野 拓也、乃村 克利、横道 秀彦、鶴本 宏美、
三浦 智香、須田 浩史
 - ・周南市長 藤井 律子
 - ・事務局6名
政策推進部長 中村 和久、政策推進部次長 川口 洋司、
企画課長 中村 貴子、プロジェクト担当主査 周山 健太郎、
企画担当係長 中村 充孝、主任 中村 亮太
- 資料
- ・会議次第のとおり

会議議事録

1 開会

2 市長あいさつ

皆様、こんにちは。市長の藤井律子でございます。

このたびは、第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議の委員にご就任いただき、また、本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、皆様方には、平素から本市のまちづくりや市政運営に多大なるご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、我が国の人口は2008年から減少を続けており、今後もさらに進むとみられております。こうした人口の減少が地域経済を縮小させ、地域経済の縮小が人口の減少を加速させるといった、負のスパイラルが危惧されているところでございます。

こうした問題を克服し、将来にわたって活力のある地域社会を維持していくため、本市では、平成28年1月に人口ビジョンと第1期のまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生に向けた取組を進めてきたところでございます。

そして、この取組をさらに進化させていくため、このたび、第2期の総合戦略を策定することとし、様々な分野でご活躍の皆様方から、専門的なご意見、ご提言をいただきながら進めてまいりたいと考え、この会議を組織したところでございます。

委員の皆様方におかれましては、どうぞ、忌憚のないご意見をいただき、本市の特性を最大限に生かした総合戦略の策定にお力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

3 委員自己紹介

◇事務局 続きまして、委員の自己紹介に移りたいと存じます。時間の関係もございまして、江波委員よりお一人ずつ簡単に自己紹介をお願いいたします。

(委員 自己紹介)

◇事務局 なお、本日は、新南陽商工会議所の片山委員がご都合により欠席されておりますので、ご報告いたします。

次に、事務局の紹介をいたします。

(事務局 自己紹介)

4 会長及び副会長の選出

◇事務局 それでは次に、会長及び副会長の選出に入りたいと存じます。第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱第5条で「戦略会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。」とされておりますので、皆さまの互選により、会長、副会長を選出したいと存じます。どなたか、ご意見はございますか。

●委員 皆様ご意見が無ければ、事務局に一任してはいかがでしょうか。

●委員 (異議なし)

◇事務局 事務局に一任とのご意見でございしますが、よろしいでしょうか。

●委員 (異議なし)

◇事務局 それでは、事務局から会長及び副会長をご提案させていただきます。会長は山口大学の榊原弘之委員、副会長は徳山工業高等専門学校の河野拓也委員にお願いしたいと思います。ご異議がなければ、拍手をもってご承認をお願いいたします。

●委員 (拍手承認)

◇事務局 委員の皆さまのご承認により、会長に榊原委員、副会長には河野委員が選出されました。榊原会長、河野副会長におかれましては、前の席にご移動をお願いいたします。

(会長・副会長 移動)

◇事務局 ここで、会長、副会長より、一言ずつごあいさつをお願いします。

(会長・副会長 あいさつ)

◇事務局　ここで、恐れ入りますが、市長は次の公務がございしますので、退席させていただきます。

（市長 退席）

◇事務局　それでは、これから議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長、どうぞよろしくお願いいたします。

5 議事：(1) まち・ひと・しごと創生について

○会長　それでは、規定により議長を務めさせていただきます。議事進行につきまして、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

早速ですが、議題1「まち・ひと・しごと創生」について、事務局から説明をお願いします。

◇事務局　（資料3を基に説明）

○会長　ただいまの説明につきまして、ご質問がございましたらお願いします。

●委員　（質問なし）

5 議事：(2) 周南市人口ビジョン改訂（案）について

○会長　質問が無ければ、続いて、議題2の「周南市人口ビジョン改訂案」について、事務局より説明をお願いします。

◇事務局　（資料4を基に説明）

○会長　ただいまの事務局からの説明につきまして、質問等がございましたらお願いします。

●委員　将来展望のアンケートについて2点お伺いします。周南市に定住したいという割合が7割と高い気がしますが、近隣と比較して、周南市は定住希望者が多いのかというのが1点と、もう一つは、アンケート調査は平成27年に行ったと思いますが、定期的に行う予定なのかということをお伺いできればと思います。

◇事務局　まず、定期的アンケートを行っているのかのご質問ですが、平成27年以降は行っていません。2060年までの長期ビジョンということで、今回、アンケートは行いませんでしたが、次の5年後にはアンケートを行って、新たに現状を把握する必要があると考えております。近隣との比較につきましては、すみませんが手元にデータが無いのでお答えできかねます。

●委員　アンケートについては分かりました。なぜ近隣と思ったのかということ、7割の住みたいという方は、どんなところが良いのか、他と比べて弱いのであれば、どこが弱いのか、他のところと比べたらより緻密なものとなるのではないかと思います。

ました。

◇事務局 県がアンケートを行ったり、平成27年には近隣の市町もアンケートを行っていますので、次回の会議までにはデータを皆様にお示しできるように調べてみたいと思います。

●委員 下松市は人口が流入しているという話があります。32ページに「安定した雇用を生む環境をつくり」と挙げておられますが、フローという意味では、周南市は地盤が下松市よりあるのではないかと思います。なぜ下松市が人口が増えて、周南市が減っていくのか。このあたりの比較・解析はされているのでしょうか。例えば、光市に事業がある方が下松市に住まれるという話を聞いたことがある。そういった意味では、何かしら下松市にも雇用以外のもので引きつける力や魅力があるのではないかと。その辺にヒントがあるのではないかとと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。

◇事務局 明確な理由は分かっておりませんが、人口の動向を見ますと、子育て世代の方が、防府市や下松市へ流出している傾向が高いので、家を持たれるタイミングでそうした流れがあるのかなど、正確な分析ではありませんが、そうした感覚を持っています。今後、例えば、転入される方、転出される方に簡易なアンケートを行うなど、どのような理由で人口が動いているのかを把握する必要があると考えています。

○会長 周南市にお住まいの方にアンケートをされて、下松に転出しているということであれば、なぜ転出されるのかということは何らかの形で調査が必要であるという気がします。確か、県内でまだ増えているのは下松市だけです。周南市からの流出というのかなりあると聞いています。

そのほか、いかがでしょうか。

●委員 周南市内で人口が増えている地域と減っている地域があると思いますが、なぜこっちが増えて、こっちが減っているのかという解析も同様に必要かと思うのですが。特に若い世代が世帯を持つ際に増えている地域というのもすごく限定されていると思いますので、なぜそこなのかということもよく解析いただけたらと思います。

◇事務局 地区ごとの人口の移動というのも、分析はしているところです。例えば小中学校の児童生徒数で申しましても、周陽地区の落ち込みが大きかったり、逆に中心市街地のあたりはそう変わっていなかったり、いろんな人口の動きがありますので、ご指摘いただきましたように、市内でも地区ごとの分析もしっかり行って、計画にも反映できたらと考えております。

○会長 地区内ということで、社人研モデルはもう少し狭い範囲のでもできますよね。立地適正化計画とかでも、多少そういうのをやっておられたら、参照すると良いと思います。

そのほか、いかがですか。

10 ページに性別・年齢別の転入転出の話がありまして、15～19 歳は女性のほうが流出しているという話がありましたが、主に大学進学や専門学校、そういう進学に伴う流出で女性のほうが多く転出していると分析されているということでしょうか。

◇事務局 15～19 歳の転出が多いのは、おそらく就学・進学のタイミングで、20～24 歳というのは就職のタイミングではないかと考えています。

○会長 多くの都市では大体そうですね。周南市は大学や高専がありまして、大学・高専がないところは 15～19 歳で一気に出て行ってしまうということになりがちで、大学とかがあるまちですと、15～19 歳はある程度保持しますが、その後の 20 代前半でたくさん出てしまうというのは割とありまして、県内の他の市もそうだと思います。基本的にそういう構造だという分析ですね。

●委員 私は農業、加工などもやっているのですが単純な農業ではありませんが、いろんなデータを見て、予想はしていましたが結構衝撃を受けました。13 ページの表を見ても、第 1 次産業が 0.2 万人、18 ページも従業者数が 167 名ということで、ビジョンの中にも表を見る限り、1 次産業が入っていない状況で、これから私たちが頑張らなければいけないかならなければならないなと思ったのですが、第 1 次産業を盛り上げていくとか、2 次産業、3 次産業とのコラボレーションとかも含めて、どのように考えているのかというのを聞きたいと思いました。

◇事務局 取組のことになりますので、総合戦略の素案の内容に入ってしまうことにはなりますが、例えば、雇用を生むというところでは、6 次産業の振興であったり、新規の農林漁業者への支援といった、稼げる農林水産業の構築というのも推進施策に掲げて取組を進めたいと考えています。詳しくは後ほどご説明いたします。

5 議事：(3) 第 2 期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

○会長 それでは、何をするかというのがありますので、議題 3 に移らせていただきたいと思います。議題 3 の第 2 期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について、事務局より説明をお願いします。

◇事務局 （資料 5 を基に説明）

○会長 第 2 期総合戦略（素案）の質疑についてですが、この会議で意見を言わなければこれで決まってしまうという訳ではなくて、今後、この総合戦略を主に議論していくということになります。今日はかなりのボリュームの情報があるので、すぐにここでご意見をいただかなければいけない訳ではないですが、事務局からの説明について疑問点などありましたらこの場でお願いします。細かい内容につきましては次回以降になると思いますので、そういった形でお願いします。

●委員 6ページ以降で目標を決めていますが、この現状と目標との整合性というか意味合い、これを行えば目標値に近づくという関連性とか、全てを結びつけるのは難しいと思いますが、そういうものがあるのかをお聞きしたい。

◇事務局 全てが数値目標に直接関係するものではないかもしれませんが、例えば、産業基盤強化の促進の航路の完成ということで、それがすぐ就業者に跳ね返るかというところと少し分かりにくいかもしれませんが、やはり周南コンビナートで言えば港湾の整備ということが非常に重要になりますので、そうしたことでKPIとしては航路を挙げていたり、本社機能の移転ということで、本社が移転されればそれに伴って従業員の方も移転されるということで、市内就業者が増えるとか、取組に相応しい目標と数値目標というところで、大きく言えば関連性があると考えていますが、少し分かりにくいところがあるかもしれませんが、そういうところもご意見をいただきながら見直す必要があれば見直していきたいと考えております。

●委員 企業との関係もすごく大きいと思います。それと税制面との関わりもあると思います。それをこの場で決めることはできないと思いますが、考え方は皆さん大体一致しても、その後の踏み込みが非常に難しい部分があるのではないかと思いますので、たくさん目標がありますが、全ての整合性を関連付けるのは難しいと本当に思います。例えば、一つ目玉といいますか、そういった目標と、それに対する施策を盛り込んだ取組をするというのもあったらおもしろいと思います。

○会長 港湾については、長期構想に入っているものですか。港湾計画で決定されているものですか。

◇事務局 国の計画に入っているものです。

○会長 もちろん予算の問題もありますけど。

そのほか、いかがでしょうか。

●委員 策定スケジュールを見てみますと、次回、第1期の検証を行うこととなっておりますので、第1期の検証を踏まえたものが第2期のスタートラインとして組み込んでいると思います。そうすると、第1期の人口ビジョンというのがどこまで改善されて、それを引き継いで今回の人口ビジョンにつながっているという、2つの計画、人口ビジョンはそれぞれ第1期のものを踏まえて作り変えられていると理解してよろしいか。

◇事務局 やはり、第1期がどのように推移したかというところで、第2期に反映する必要があると考えております。皆様に成果もお示ししながら、続けていく取組もありますし、見直さないといけないものもありますし、新たに考えないといけないものもありますので、担当所管がご説明をし、皆様のご意見を直接お聞きして施策に反映できるよう進めていきたいと考えております。

○会長 個別のKPIの項目自体のこともありますが、目標値の妥当性については今後ですか。担当課がないと難しいですか。

◇事務局 数値目標は全体的な話ですので、例えば、14ページの「人口1,000人あたりの出生数」を検討中としていますが、このあたりは事務局でもどのような数値が良いのかを迷っているところもあります。KPIについては取組を反映するということもありますので、そのあたりは担当課も交えてお話いただいたほうが良いかと思います。

○会長 先程拝見していて、若干大丈夫かなという数値もありますが、個別の話なので、その時に申したいと思います。

これは全体的な考え方ですが、なかなかこういう目標値を立てるときに難しいのが、実現可能性を重視するか、ある意味そういう手堅い数字を出していくか、少し野心的な数字を出していくかというのがあると思いますが、現時点で事務局の考えはありますか。

◇事務局 総合計画が上位計画にありますので、なるべくそちらと整合がとれた目標値となっています。ただ、あまりにも目標が低く、容易に達成できるものか、少し高めが良いのかとか、これまでのトレンドやこうした施策を行うので具体的に、例えば誘致みたいなものであれば、目標をしっかりと持って取り組むものもあると思いますし、それはこれから検討する中で、全体的にどっちが良いかというのは難しいかもしれませんが、なるべく根拠のある数字というか、説明のできる数字を設定するのが良いと考えています。

●委員 大元の話に戻りますが、いろんな課題があって、それに対して目標を定めて、克服していくという形になるかと思いますが、元々、人口減少を抑える、地方で働き口を探して人口を増加させていくという形が目的だと思います。今回の人口ビジョン改訂版と第1期の総合戦略の将来人口の推移はほとんど変わっていないと思います。周南市としてはこの人口推移でいくために、合計特殊出生率を1.91から2.07に上げていくために行っているということだと思うのですが、それは第1期の総合戦略を作る際に、この目標にするためにはこういった取組を行っていけば数値が上がっていくということで、それが確かなものか不確かなものかは置いておいて、目標を定めたと思いますが、この合計特殊出生率がいまいちピンと来ないところがあって、例えば、平成20～24年に1.64に上がっているとか、それを昭和58～62年の1.9まで戻して、人口の推移のカーブを抑えていくといったところですが、この合計特殊出生率の目標数値についてもう一度を教えていただけたらと思います。

◇事務局 合計特殊出生率というのは、女性が一生のうちに産む平均の子供の数ということです。人口置換水準が2.07となっていますが、女性が一生のうちに平均で2.07人産めば自然増減が均衡する。男女のペアと考えたときに女性が2人以上産めば均衡するであろうという数字です。これを2040年に2.07にしているのは、国の人口ビジョンでもそうなっておりますので、本市においても2040年に人口置

換水準、自然増減が均衡する 2.07 を目指すとしております。2030 年に 1.91 というのは、21 ページからの市民の方にアンケートを取ったときに、最新値で 1.64 でしたが、アンケート結果から算出すると、希望する人数が 1.91 になっており、望んでおられる数と現実とのギャップがありますので、産みたいと思われる方が産める、育てたいと考える方が産んで育てられるという希望を叶えるというところで 1.91 という数字を入れています。そのために、基本目標 2 で結婚、妊娠・出産・子育てに対する支援を行って、産みたいと思われる方が産んで育てていただけるような取組をしたいというところです。2040 年の 2.07 を達成するまでに 2030 年に市民の皆さんの希望を叶えたいというところで数値を置いています。

●委員 素案を拝見させていただきましたが、1 期から入っておられる方と、今回初めて入られる方との温度差というか、5 月中旬に第 1 期の検証がありますが、その時にも評価が分かれた項目とか、これは効果がないのではないかとという項目も今回の中に入っています。なぜ 1 期で効果がなくて、2 期の中にこの項目が入って本当に効果があるのかというところを検証していかないと。水素先進都市で人口が増えていくのか、出生率は上がるのかという議論があったかと思えます。評価を出していただいて、このように改善して、このように今回挙げましたということでない、なかなか理解が難しいのではないかと思いますし、初めて今回から参加される皆さんについては、まず第 1 期の検証を十分にさせていただいたうえで議論しないと、なかなか良いものが出来上がらないのではないかと感じました。

◇事務局 次回になりますが、第 1 期の 5 年間の取組の結果が出てきますので、そのあたりを皆様にご説明して、所管課も交えてご説明を行いたいと考えています。

○会長 次回が第 1 期の検証ということで、どのくらい達成できたかというところも次回ご説明いただけたらと思います。

そのほかよろしいですか。いろいろとご意見ありがとうございました。

5 議事：(4) 総合戦略策定スケジュールについて

○会長 続いて、議題 4 の「総合戦略策定スケジュール」について、事務局より説明をお願いします。

◇事務局 (資料 6 を基に説明)

○会長 ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等がございますか。

●委員 (質問なし)

○会長 かなりタイトなスケジュールとなっておりますが、よろしく申し上げます。以上で全ての議事が終了となりますが、全体を通して質問等があればお願いいたします。

●委員 (質問なし)

○会長 本日は、第1回目の会議ということで、委員の皆さまの顔合わせと、人口ビジョンの改訂案や第2期総合戦略の全体像、今後のスケジュール等について事務局から説明を受けました。次回は、第1期のこれまでの5年間の取組を検証し、3回目以降の会議で具体的な施策や目標指標について、協議していくことになると思いますので、よろしくお願いいたします。本日の日程は、以上ですが、最後に「その他」として、事務局から何かありますか。

6 その他

◇事務局 (事務局から以下の3点について連絡)

- ・次回以降の開催日程について(書類の提出依頼)
- ・委員報酬について
- ・駐車場の利用について

○会長 以上で、すべての日程を終了いたしました。さきほど事務局から説明のありました人口ビジョンや総合戦略は、周南市の在り方に対してある1つの指針を示す重要な計画でございます。さきほど1期から2期という話がありましたが、1期の時期というのは、周南市だけでなく全国的に経済情勢などが、その前のリーマンショックや東日本大震災のあとなので、比較的小康状態だったと思いますが、昨今のコロナウイルスの件で第1期とは違った厳しい状況もあり得るのかなと思っていて、おそらくこの議論をしていく数か月間でそういう情勢も変わってくるのかなという気もして、あまり右往左往することでもないのかもしれませんが、多少はそういうところも考えなければいけないのかなと思っています。経済界からのご参加の方もいらっしゃるもので、さまざまな観点からご意見をいただけたらと思います。皆様お疲れ様でした。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

7 閉会

◇事務局 以上をもちまして第2期周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議を終了いたします。本日はありがとうございました。